

## 施策評価調書(27年度実績)

施策コード I-3-(1)

政策体系	施策名	障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進	所管部局名	福祉保健部	長期総合計画頁	45
	政策名	障がい者が地域で暮らし働ける社会づくりの推進	関係部局名	福祉保健部		

### 【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	障がいや障がい者に対する理解の促進 及び権利擁護の推進	サービス提供基盤の整備	地域生活への移行促進	芸術文化・スポーツの振興と 社会参加の推進

### 【Ⅱ. 目標指標】

指 標	関連する 取組No.	基準値		27年度			31年度	36年度	目標達成度(%)					
		年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	目標値	25	50	75	100	125	
i グループホーム利用者数(人)	②③	H26	1,325	1,375	1,461	106.3%	1,672	2,000						

### 【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等	平均評価
i 達成	グループホーム等の障がい者福祉施設の整備に対して補助を行い、地域生活における住まいの場の確保を図るとともに、地域での相談支援体制の強化、地域移行・地域定着を支える人材の確保や専門性を向上させる取り組み等により、目標値を達成することができた。	達成

#### 【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」を制定した(H28.3)。
②	・障がい者福祉施設の新設等に対して補助を行い、サービス提供基盤の整備を図った。 H27整備数：グループホーム等 5施設
③	・県障害福祉課内に、精神科病院と地域をつなぐ役割を専門に担う地域移行専門員を配置し、精神科病院への定期的な訪問等により、精神科入院患者の実態把握や地域の支援体制等に対する理解の促進を図った。
④	・パラリンピック出場が期待される優秀選手の海外遠征経費に対する支援を行ったほか、障がい者スポーツ体験会等を実施し、障がい者スポーツの競技力向上と普及啓発を図った。 H27障がい者スポーツ体験会、子どもふれあい交流会、障がい者スポーツ指導者研修会の実施回数：60回

#### 【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(27年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	28年度の方向性	
②	障がい者福祉施設整備事業	473,551	A	継続・見直し	58
③	相談支援従事者等養成事業	6,419	A	継続・見直し	59
④	障がい者スポーツ選手育成・強化支援事業	16,128	A	継続・見直し	60

#### 【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○大分県障害者施策推進協議会 (H27.9)</p> <p>・障がい者スポーツについては、健常者の中に混じってスポーツを行うことが裾野を広げることにつながる。</p>	
--	--

#### 【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<p>・H28.4から障害者差別解消法及び「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」が施行されたことに伴い、あらゆる機会を通じて、障がいや障がい者に対する理解の促進と権利擁護の推進を図る。</p> <p>・障がい者の地域生活を支えるための住まいの場の確保や日中活動の場の拡充については、福祉施策と住宅施策などの他の施策との連携を図りながら、大分県障がい福祉計画(第4期)に定める目標値等に基づき計画的に整備する。</p> <p>・障がい者の自立した地域生活を支えるため、相談支援従事者を計画的に養成するとともに、従事者の質の向上に努め、相談支援体制の強化を図る。</p> <p>・障がい者が共同で生活するグループホームなどの地域の住まいの場の確保と併せ、病院・施設の入院・入所者の地域生活への移行促進を図る。</p> <p>・大分国際車いすマラソン大会や障がい者スポーツ大会の開催などにより競技スポーツの振興を図るとともに、2020年東京パラリンピックを見据え、活躍が期待される選手への支援強化を行う。</p> <p>・障がい者スポーツ体験会等を通じた障がい者スポーツの普及啓発を図り、2020年東京パラリンピックに向けた機運醸成を図る。</p> <p>・H30年度に県内開催が決定した全国障害者・芸術文化祭に向けて、障がい者アートの取組を積極的に支援するとともに、共生社会の実現に向けた支援体制の構築を図る。</p>